

Title	『三田商学研究』25周年にあたって(商学部創立25周年記念号(1))
Sub Title	On a Quarter Century of Mita Business Review(Commemorating the Twenty-Fifth Anniversary 1)
Author	小島, 三郎(Kojima, Saburo)
Publisher	
Publication year	1982
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.25, No.1 (1982. 4) ,p.1- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-19820420-03959583

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田商学研究
25 卷 1 号
1982 年 4 月

『三田商学研究』25周年にあたって

商学部長・商学会長

小 島 三 郎

慶応義塾大学商学部の創立は、1957年3月のことであり、今年の3月で満25年を迎えた。他方、学部機関誌『三田商学研究』は、翌1958年、慶応義塾創立100周年の年の春に創刊されたので、今年が創刊25周年に当たる。

本誌は、発刊以来順調に、隔月の発行、年間6号の刊行を続けてきたから、今日まで通算24巻、合計144号(冊)を世に送り、そこに掲載された論文及び資料は実に800余点に及んでいる。

もちろん、機関誌の良し悪しは、単に伝統の長さや発行部数、或は掲載論文数といったものだけによって決まるものではなく、その内容の水準の高さに依存し、またその内容の高さは、それが科学的研究雑誌の場合、そこにかかげられた論文ないし研究が、いかに新たに認識の進歩に寄与したかということによって測られると思われる。

われわれは、本誌と本誌の海外向けの姉妹誌『Keio Business Review』がわが国における経済学、商学、経営学、会計学といった分野の専門誌として国の内外において着実にその地歩を築き、高い評価をえていると考えるが、それは、わが学部スタッフが不断に真摯な研鑽を重ね、科学的な認識の進歩を目ざして常に大いなる貢献を果してきたからにほかならないと自負している。

確かに科学的研究といえども、本来真摯に認識進歩をめざしていても、時に研究者の認識関心の変化を反映して分野別なはやりすたりがあり、またそこから由来する各種理論の精緻化にもそれなりの差が生ずることは否定しえない。

それ故、かかる眼をもって本誌掲載論文を鳥瞰してみると、この四半世紀の世界経済の著しい変動を背景に、スタッフの日本経済を含む世界の経済動向に対する見方、問題意識、研究方法もまた大きく変化してきたのも事実である。

しかし、われわれは、それぞれ取組む分野に差があるとしても、等しく全地球的な視野に立ち、人類に対し認識進歩の実を実現すべく、今後共努力し続けてゆくことを約束するものである。

この意味を含めて、本誌25巻は、全6号を挙げて商学部25周年記念号とし、商学部全スタッフの研究論文を収録、刊行することとした。これら論集は、それぞれの専攻に従い、経営学、マーケティング、国際経済学、会計学、計量経済学、交通・労働経済学、金融・保険・産業史の各分野に大別されて順次刊行されるが、それらは何れも現商学部スタッフの研究の現状と、次なる四半世紀への^{パースペクティブ}展望を与えてくれるものと期待される。

江湖の御批判を期待してやまない。

1982年4月